

TOTO

取替用シングルレバー混合栓 施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付後はお客様にご使用方法を十分で説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

• この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

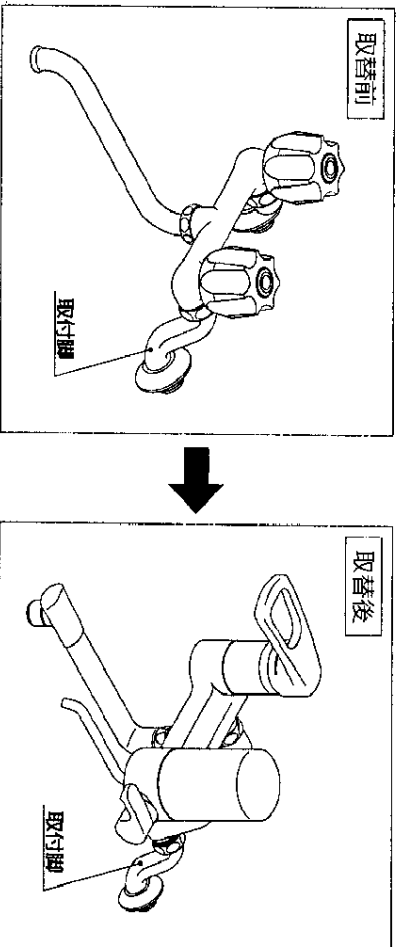
△注意

(1) 湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

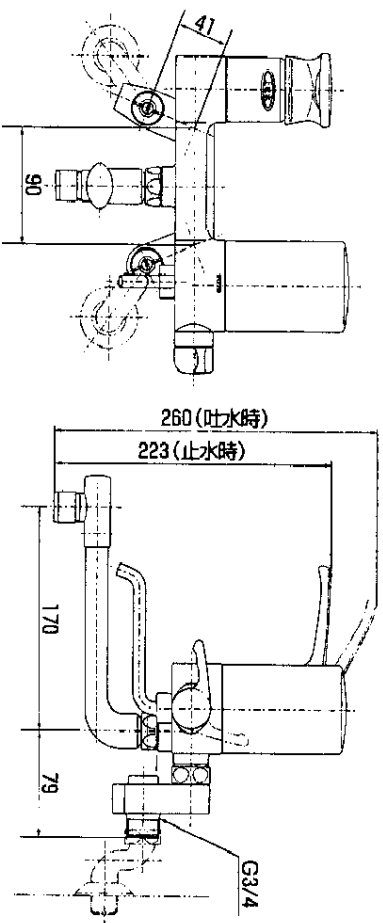
(2) 本製品は寒冷地用ではありません。
凍結が予想される場所にはお取付けできません。

(3) 本製品は、今お使いの２ハンドル混合栓の取付脚をそのまま使用してシングルレバー混合栓を取付けるものです。取付脚部、配管や壁に腐食・ひび割れ・水もれ・カクタツキ等のないことを十分お確かめの上、お取付けください。

完成図



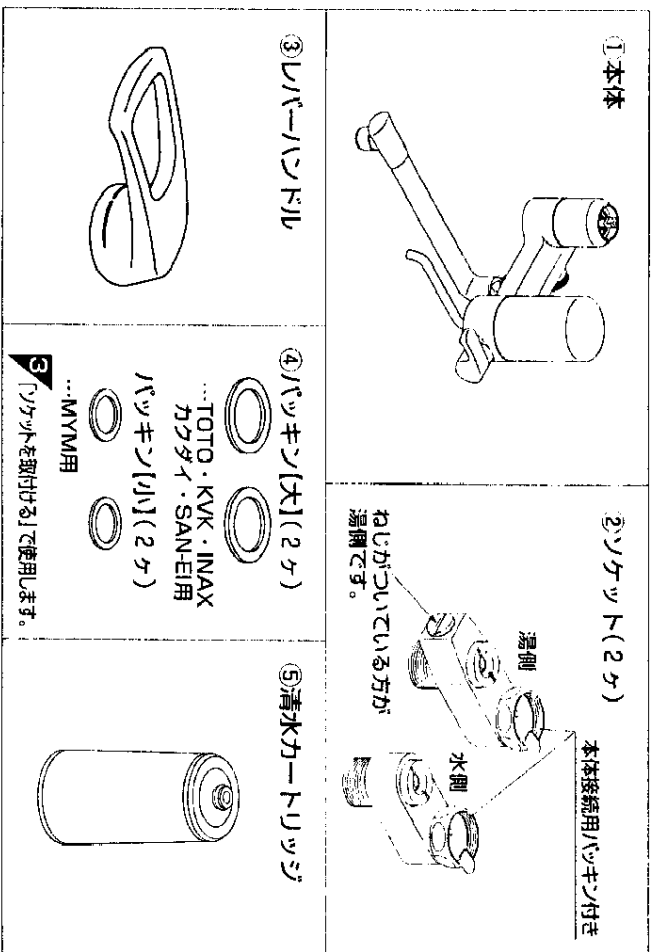
TKG37U1X



※商品によっては、図と形状が一部異なることがあります。

※壁付き２ハンドル混合栓のほかに取付け可能です。このうちKVK・カクタツキの一部商品にはアダプタを使用するため、前出寸法がさらに大きくなります。

同梱部品



使用条件

1. 使用水圧
 (1) 瞬間型給湯機と組合せる場合
 給水圧力 { 最低必要水圧… (右表参照)
 最高水圧…………… 0.75 MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプ		最低必要水圧
能力手動切替タイプ	12号	A+0.4
TOTO ハイカスタム	U16	0.09
	U20	
TOTO ハイトリコン	U16	0.07
	U20	
	U21	
	U24	
TOTO ハイコンパクト	S16	0.07
	S20	
TOTO ハイアクテイ	G/U24	0.07
	32	
	40	

(注) 表記のAは給湯機の最低作動水圧を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

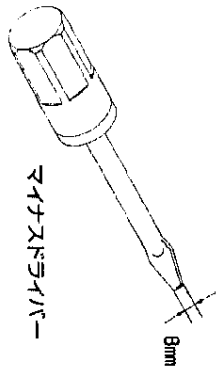
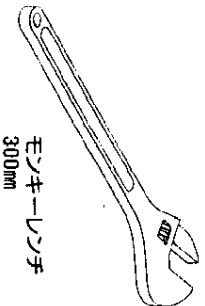
<設定時間>

- レバーハンドル全開
- 吐水温度：38℃
- 給湯配管長さ：5m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定。

- a) 能力手動切替タイプの場合
- 給湯機温度調節は最高温に設定
 - ※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。
- b) 比例制御タイプの場合
- 給湯温度は60℃に設定
- (2) 貯湯式給湯機と組合せる場合
- 給水・給湯圧力 { 最低必要水圧… 0.07 MPa
 最高水圧…………… 0.75 MPa
- (3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。
- ・給湯に蒸気を使用しないでください。
 - ・湯・水を逆配管しないでください。
- なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

使用工具

施工・点検用



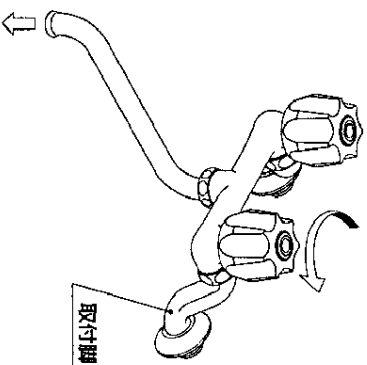
器具の取替方法

1 元栓を閉める

水道メーターの元栓を閉めてください。

! 取付脚部に腐食・ひび割れ・漏水等のないことを十分確認してください。
また、配管や取付脚部の強度も十分確認してください。取付後、破損 水もれのおそれがあります。

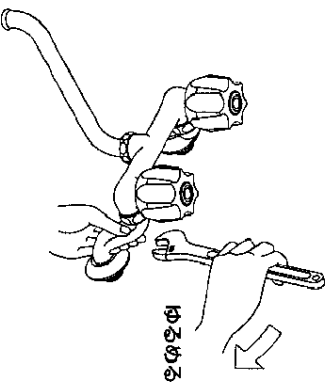
ハンドルを開け、水がでないことを確認してください。



2 混合栓本体を取外す

混合栓の本体部のみをモンキーレンチで取外します。

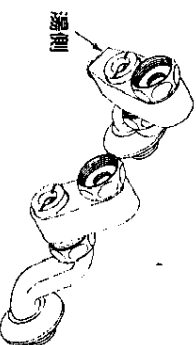
! 取付脚がゆるまないよう十分手で保持してください。



3 ソケットを取付ける

ソケットを仮止めします。

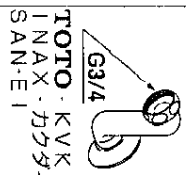
! 湯割のソケット洗剤はTOTOの食器分岐金具が接腐になります。



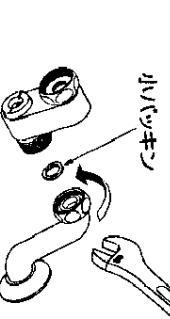
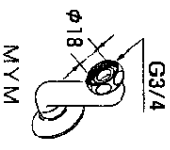
! メーカーによって必要になりますので、下表により確認してください。アダプタは別売品です。アダプタを取付寸法がさらに大きくなります。

2/バルブの形状

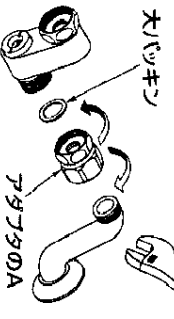
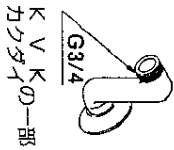
2/バルブの脚形状別の取付方法



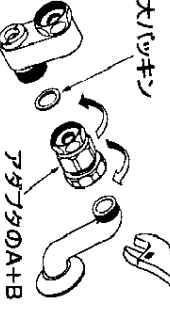
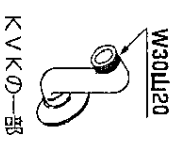
大パッキンを入れて仮止めしてください。



小パッキンを入れて仮止めます。



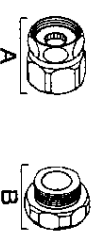
大パッキンとアダプタを取付け、ソケットを仮止めます。



大パッキンとアダプタを取付け、ソケットを仮止めます。

! 古いパッキンを取外し、付属の新しいパッキンと必ず交換してください。水もれのおそれがあります。


アダプタはAとBでできています。

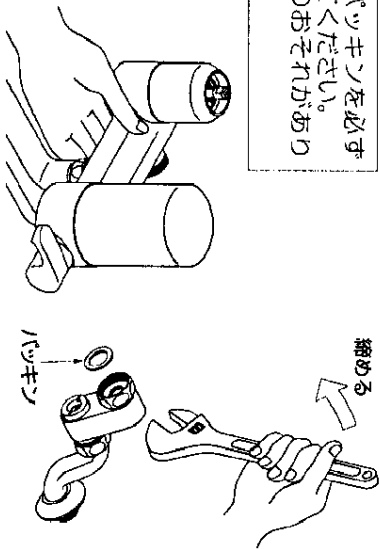


4

水栓本体を取付ける

水栓本体をモンキーレンチで仮止めし、本体が水平になったら、**▼**で仮固定した部分とあわせて増し締めしてください。
増し締めの際、今まで使用している2ハンドル混合栓の取付脚に無理な力がかけられないよう注意してください。

 付属のパッキンを必ず使用してください。水もれのおそれがあります。

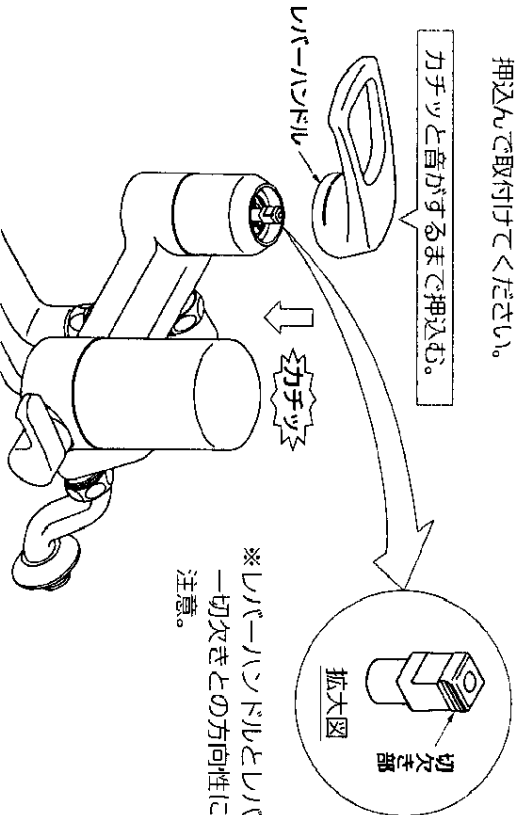


5

レバーハンドルを取付ける

レバーハンドルを**カチツツ**と音がするまでしっかりと上から押込んで取付けてください。

カチツツと音がするまで押込む。



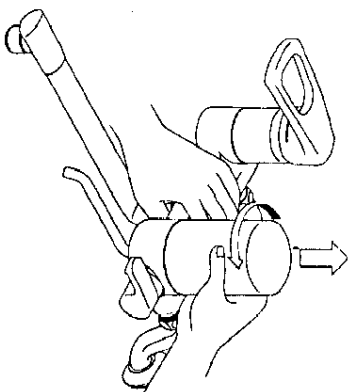
再生紙を使用しています。

※付属の取扱説明書は、必ずお密様にお渡しください。
手渡できない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

6

カバーを外す

清水ハンドルを閉め、水栓本体とカバーを両手でしっかりと持ち、カバーを矢印の方向に回して外してください。

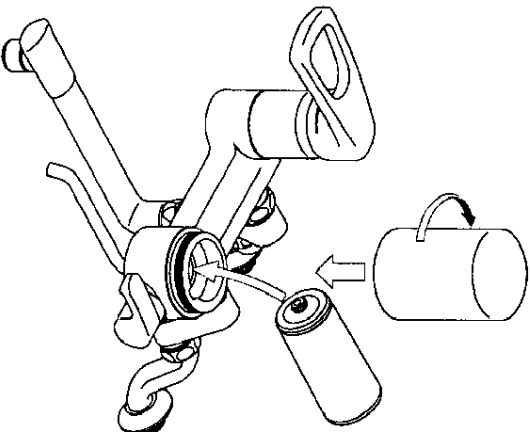


7

カートリッジを入れる

カートリッジの凸部を水栓の差込口に差込みます。次に水栓本体とカバーを両手でしっかりと持ち、カバーを矢印の方向に回して締め付けてください。(工具は使用しないでください。)

※カートリッジの密封包装は差込前に取外してください。

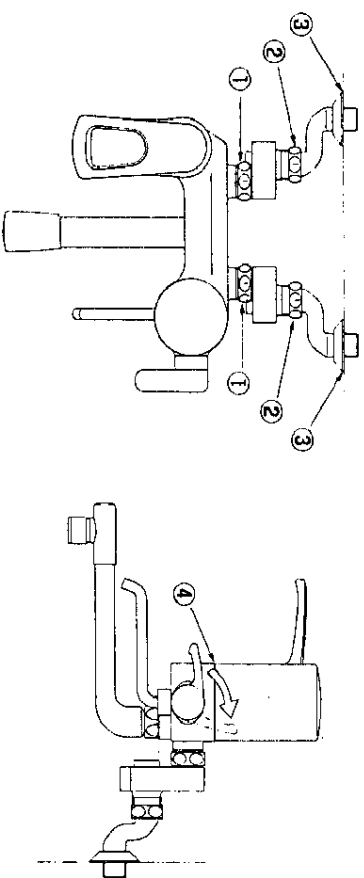


※付属の取扱説明書は、必ずお密様にお渡しください。
手渡できない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

8

水もれの確認

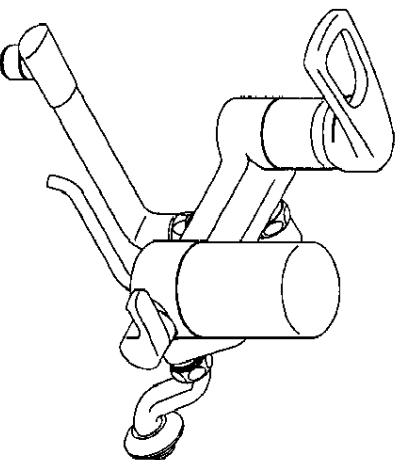
水道メーターの元栓を開けて水もれがないか十分に確認してください。
また、清水ハンドルを開いて水漏れのないことを確認してください。



水もれ箇所	次のことを確認してください。
① ②	・パッキンが入っているか確認してください。 ・増し締めしてください。
③	・「備考」を参考にもう一度取付けてください。
④	・カバーがしっかりとまっているか確認してください。

9

完成



使用上の注意

この商品は、ウォーターリナー低減機構を採用しております。
リバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じることがありますが故障ではありません。
万一、リバーハンドルがひっかかって水が止まらなくなった場合は、一度全開にして再度ゆっくり開めてください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。
 - ・ TOTO 水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・ シンナー、ベンジンなどの溶剤もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。
2. 水栓の表面や樹脂部に付着した水あかななどの汚れ落としに TOTO 水あかクリーナーのご使用をお勧めします。
TOTO 水あかクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。
お求めはお近くの TOTO ショールームもしくは TOTO パーツセンターにお尋ねください。
3. 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れを拭き取ってください。ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取った後、水洗いし、からぶきしてください。
4. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは使用しないでください。
 - ・ TOTO 水あかクリーナー以外のクレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
 - ・ ナイロントわし、メラミなど

分解と点検

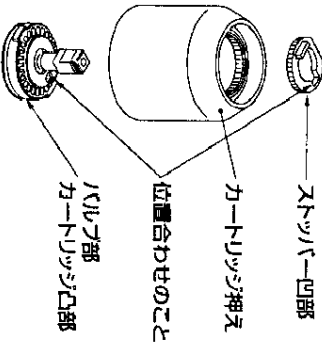
取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

ご注意

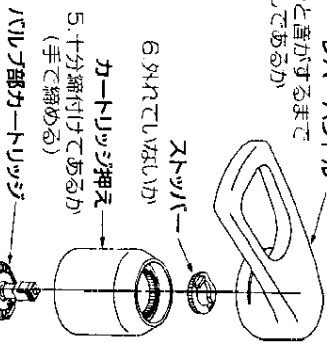
- ハンドル部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。
- 清水/ハンドルはまっすぐに引き抜いてください。ななめに引き抜くと、破損する場合があります。
- 清水/ハンドルが抜けない場合は、ハンドルに傷が付かないように軽くたたいて抜いてください。
- カートリッジ押えと清水カバナーは工具を使用せず手で締付けてください。

点検時の注意

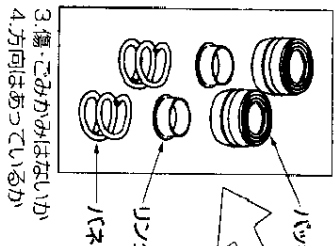
ストッパーを組み込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。
 その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向に少し回して歯を合わせるように調整してください。



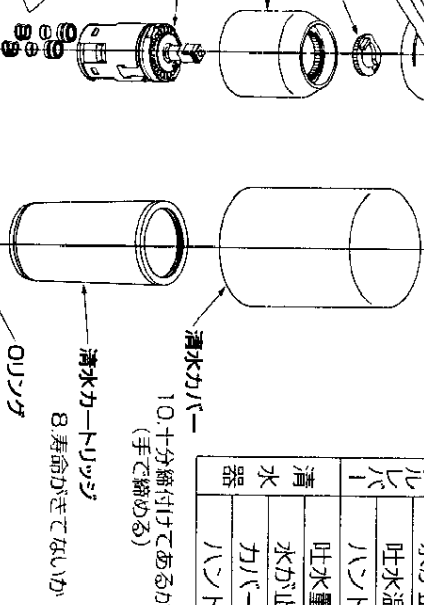
ハンドル
 7.カチツと音がするまで
 差込んであるか



6.外れていないか
 カートリッジ押え
 5.十分締付けであるか
 (手で締める)



3.傷・ごみかみはないか
 4.方向はあっているか

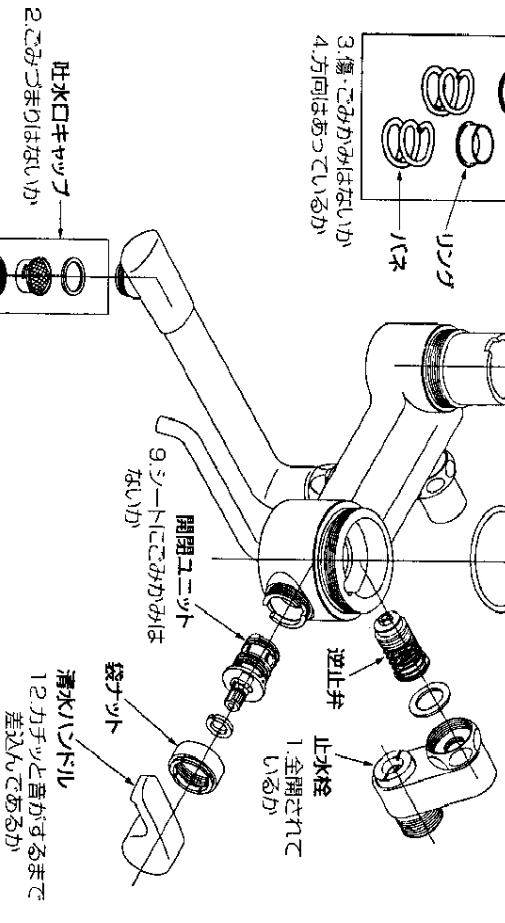


10.十分締付けであるか
 (手で締める)

8.寿命がきていないか

11.傷・ごみかみはないか

1.全開されているか

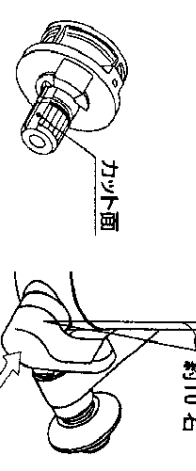


2.ごみつまりはないか
 吐水ロキキャップ

9.シートにごみかみはないか
 開閉ユニット
 清水/ハンドル
 12.カチツと音がするまで
 差込んであるか

現象	点検項目
吐水量が少くない	1・2
水が止まらない	3・4・5・6
吐水温度不良	1・2
ハンドルがガタつく	7
吐水量が少くない	1・8
水が止まらない	9
カバナーから水がもれる	10・11
ハンドルがガタつく	12

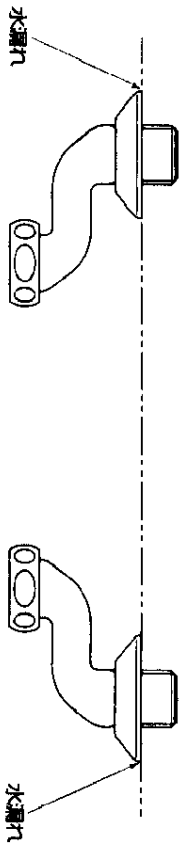
※清水/ハンドルを取り付けるときは、ハンドルのカッター面を向かって左に向けておき、ハンドルを鉛直から約10°右にしてカチツと音がするまで押し込んでください。



この時ハンドルが簡単に抜けないことを確認してください。

備

水漏れチェック時、壁部分から水漏れが発生した場合は、再度器具の取付けを行ってください。
水漏れが発生した取付脚だけ取付け直してください。



考

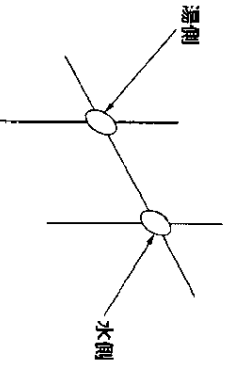
1 取付脚を外す

元栓を閉じて 今までついていた混合栓の取付脚を取外し配管内のゴミ等を取り除いてください。

回転回数確認

取付位置から取付脚を取外すまでの回転数を下表にかいておきましょう。

水側	回
湯側	回



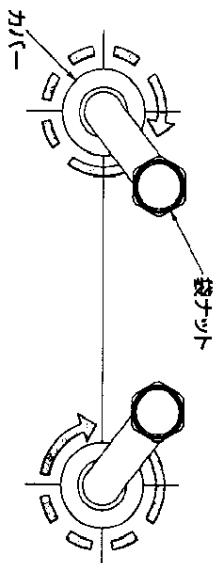
※配管に付いた古いフィルターやゴミを取除いてください。

2

仮ねじ込みをする

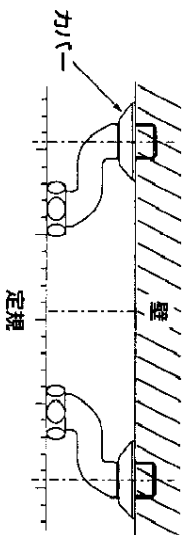
①仮ねじ込み

袋ナットを取付脚に通した状態で、カバーをねじ込んでから取付脚を配管にねじ込み、次に示す②～③にそって位置決めをしてください。



②脚部位置決め

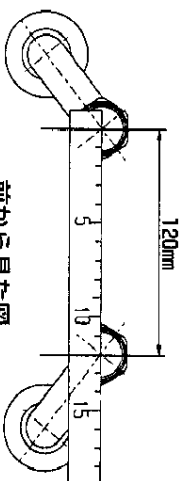
2つの取付脚の端面を上に向け壁と平行にします。
(定規が壁と平行になるよう取付脚を)
(回転させてください。)



上から見た図

③取付位置決め

取付脚の間隔を120mmにしてください。
(この位置がソケットの取付位置になります。)

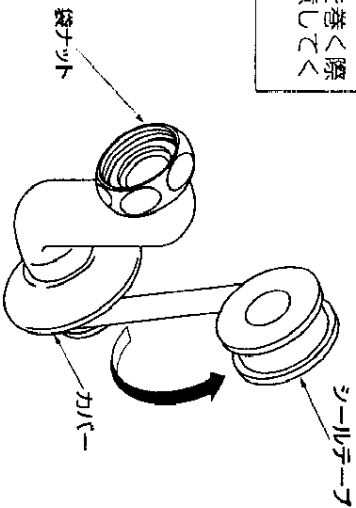
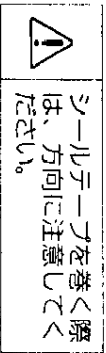


前から見た図

3

シールテープを巻く

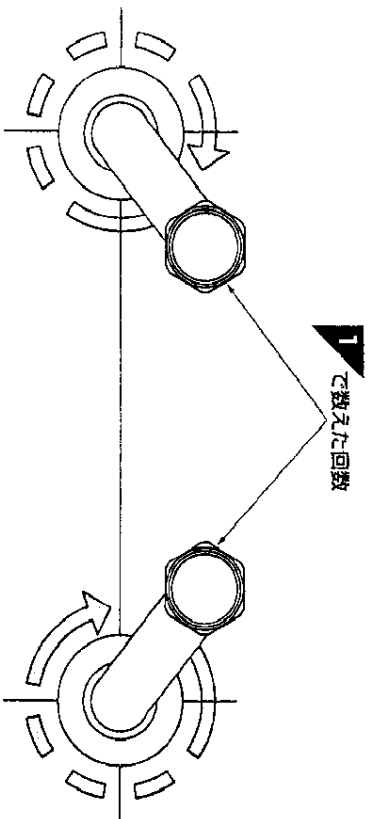
取付脚を一度外し、シールテープを5回程度巻いてください。



4

本ねじ込みをする

「1.取付脚を外す」で数えた回数まで取付脚をねじ込み、 「2. 仮ねじ込みをする」の②③にそって位置を決めてください。
締め込みがゆるい場合は一度取外し、シールテープを多く巻いて再度ねじ込んでください。



この後は表ページ「器具の取替方法」3より順番に取付けてください。